

2. 現品の確認結果

返却品の確認結果は、別紙1の表1「返却品確認結果」を参照願います。
返却品確認結果より、表1のとおり、下記ロットにて誤収納されていました。

品番	ロットNo	確認結果
XAS0C7-001A	180608101-101～130	XAS0C7-002A が収納
XAS0C7-002A	180111101-101～130	XAS0C7-001A が収納

表 1

3. ロットの波及性

別紙1より、表1のロットのみにて発生と判断します。

4. 暫定処置とその結果

返却品の、製品と現品票について確認しました。
誤収納製品につきまして、製品を確認し現品票を貼り換えました。
確認した製品につきまして、現品票に青字のレ点を行い識別を実施しております。

5. 調査

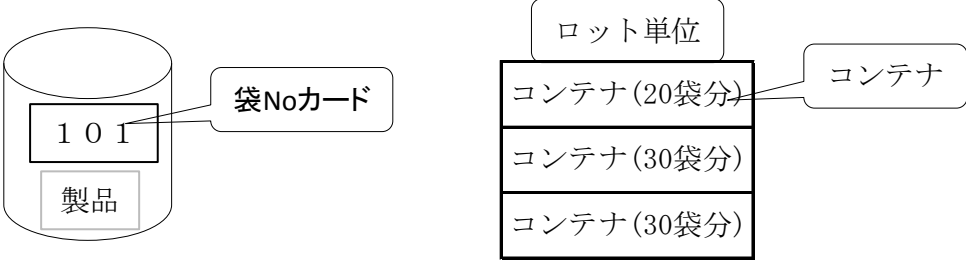
工程フロー

プレス工程⇒検査⇒計量・梱包⇒出荷

工程確認

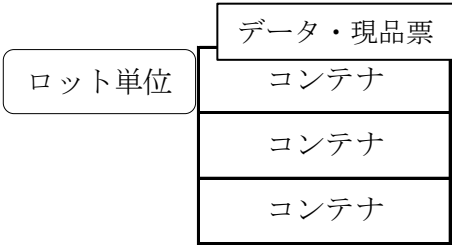
プレス工程

1袋毎、製品と袋Noカードを入れ、コンテナへ30袋分を収納しております。
袋Noカードは、数字のみ表示されたカードです。
ロット単位にコンテナを重ね検査へ入検しております。



検査

ロット単位にて、測定・外観確認を行います。
検査合格後、データ・現品票をコンテナに乗せ、ロット単位にて計量・梱包へ払い出しします。



計量・梱包

コンテナ毎、机上にて計量梱包しております。
1袋ごと計量を行い、袋Noカードと同一Noの現品票を貼りつけ梱包します。



履歴確認

品番	ロットNo.	プレス日	検査日	計量梱包
XAS0C7-001A	18.0608101-101～180	6月8日	6月12日	6月14日
XAS0C7-002A	18.0611101-101～188	6月11日	6月12日	6月14日

XAS0C7-001A 及び XAS0C7-002A とともに、6/12に検査終了し計量梱包に払出しを行い6/14に計量梱包を実施していました。

別紙1「現品確認結果」より

品番	ロットNo	コンテナ
XAS0C7-001A	180608101-101～130	1 コンテナ目
	180608101-131～160	2 コンテナ目
	180608101-161～180	3 コンテナ目
品番	ロットNo	コンテナ
XAS0C7-002A	180611101-101～130	1 コンテナ目
	180611101-131～160	2 コンテナ目
	180611101-161～188	3 コンテナ目

入れ替り

ト
ト
ト

6. 発生原因

別紙1「現品確認結果」より

別紙1の表2より、XAS0C7-001A 180608101-101～130 とXAS0C7-001A 180611101-101～130のコンテナが入れ替わったことにより、製品の誤収納が発生したと考えます。

コンテナ入れ替えの可能性がある工程は、プレス工程は、ロット単位に生産し入検している為、コンテナの入れ替わりは無いです。検査は、ロット単位に検査し、データ・現品票を付けて計量・梱包へ払い出しします。この為、コンテナの入れ替えは行いません。また、データ・現品票を置き間違えた場合、ロットすべてにて誤収納が発生してしまいます。計量・梱包は、1コンテナ単位で計量をする為、コンテナを取違いの可能性があります。履歴より、両品番の製品を同一日に計量しており、コンテナの取違いに気づけず誤収納が発生したと考えます。

袋Noカードに数字のみの表示により、品番等の識別が無い為、取違いに気づけませんでした。

以上より、ロット単位での識別は有りましたが、袋・コンテナ単位での品番等の識別表示が無く、取違時に製品識別できずに誤収納してしまいました。

8. 発生対策

袋Noカードに、品番を記載します。

これにより、製品取り違い時に確認できるようになります。

上記内容をバラ梱包仕様に落とし込みます。

流出原因

発生原因と同様に

袋Noカードに数字のみの表示により、現品票を添付する際、袋Noのみ確認していた為、取違いに気づけず流出してしまいました。

流出対策

袋詰め時、袋Noの表示と現品票の品番表示の確認を行い計量梱包を行い流出防止致します。